

平成26年 1月

西村直子 学位論文審査要旨

主 査 吉 岡 伸 一
副主査 萩 野 浩
同 花 木 啓 一

主論文

Psychosocial profiles of children with achondroplasia in terms of their short stature-related stress: a nationwide survey in Japan

(低身長ストレスからみた軟骨無形成症小児の心理社会的側面：日本での全国調査)

(著者：西村直子、花木啓一)

平成26年 Journal of Clinical Nursing 掲載予定

参考論文

1. 低身長児が自分の身長に抱くイメージと心理社会的適応の関連：対面式イメージ身長評価法を用いて

(著者：西村直子、遠藤有里、南前恵子、木村真司、高梨都、堀川玲子、田中敏章、有阪治、神崎晋、花木啓一)

平成23年 日本成長学会雑誌 17巻 33頁～40頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、軟骨無形成症の全国患者会会員を対象に、ストレス反応モデルに基づく質問紙群を用いて、その心理社会的側面と心理的適応プロセスに影響を及ぼす諸因子との関連を検討したものである。その結果、軟骨無形成症小児は極端な低身長によるストレスを頻繁に経験しながらも、心理社会的適応は障害されていないことが示された。対象者では、低身長ストレスの認知が肯定的であったこと、自己効力感が高かったことがその要因として考えられた。これまで明らかにされていなかった軟骨無形成症小児の心理社会的側面の特徴と、良好な適応状況へ繋がる心理的要因を明らかにした本論文の内容は、軟骨無形成症など身体的障害をもつ小児における心理社会的ストレスへの効果的な介入方法の手がかりを得たものであり、明らかに学術水準を高めたものと認められる。